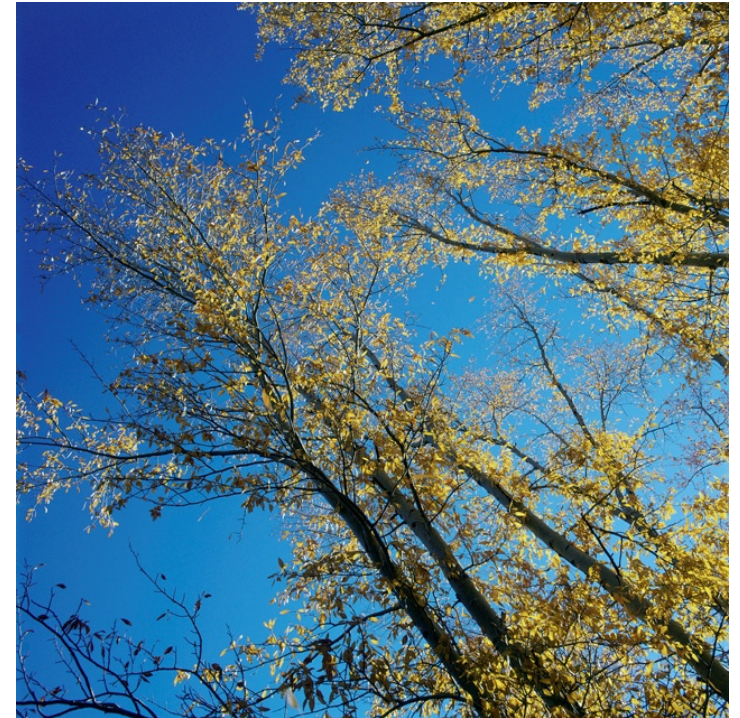


インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年10月9日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講21
「自分から進んで…」
ネヘミヤ記11章1-6節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記 1 1 章 1 - 6 節

1 民のつかさたちはエルサレムに住んでいたが、ほかの民は、くじを引いて、十人のうちからひとりずつ、聖なる都エルサレムに来て住むようにし、あとの九人をほかの町々に住まわせた。

2 すると民は、
自分から進んでエルサレムに
住もうとする人々をみな、
祝福した。

3 エルサレムに住んだ

この州のかしらたちは
次のとおりである。

ユダの町々には、

イスラエル人、祭司、レビ人、

宮に仕えるしもべたち、

ソロモンのしもべたちの子孫が、

それぞれ、

自分たちの町々の自分の所有地

に住んだ。

4 ユダ族とベニヤミン族のうちの
ある者は、エルサレムに住んだ。
すなわち、ユダ族では、
ウジヤの子アタヤであった。
このウジヤはゼカリヤの子、
順次さかのぼって、
アマルヤの子、
シェファテヤの子、
マハラルエルの子。
マハラルエルはペレツの子孫の
ひとりである。

5 次にバルクの子マアセヤであった。

このバルクはコル・ホゼの子、
順次さかのぼって、ハザヤの子、
アダヤの子、エホヤリブの子、
ゼカリヤの子。

ゼカリヤはシェラ人の子孫で
ある。

6 エルサレムに住んだペレツの子孫
は合計四百六十八名の勇士で
あった。

説教

ネヘミヤ記連講21

「自分から進んで・・・」

ネヘミヤ記11章1-6節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「すると民は、
自分から進んでエルサレムに
住もうとする人々をみな、
祝福した。」

(ネヘミヤ 11 : 2)

1 . 礼拝共同体の盟約

(1 0 章、復習)

異教徒と結婚しない (3 0 節)

商売を優先せず、安息日を守る
(3 1 節 a)

土地安息と借財帳消しのために
安息年を守る

(3 1 節 b)

神殿維持費を負担する

(3 2 - 3 3 節)

生贄のための燃料を提供する

(3 4 節)

初物と十一献金 (品) で

奉仕者の必要を支える

(3 5 - 3 9 節)

2 . 礼拝共同体の充実

(1 1 : 1 - 2)

人口寡少の理由 (7 : 4)

- 安全保障上の困難
- 経済的困難
- インフラ未整備

人口増加の施策

- くじ引きによって移住させる
(1 1 : 1)
- ボランティアを募る
(1 1 : 2)

3 . 礼拝共同体の役割分担

(1 1 : 3 - 3 5)

部族ごとの監督者 (9 節)

祭司兼戦闘要員 (1 4 節)

コワイア

(1 7、2 2 - 2 3 節)

神殿の門衛 (1 9 節)

神殿内外のメンテナンス
(2 1 節)

区役所的な人 (2 4 節)

エルサレムの周辺の住民
(2 5 - 3 5 節)

4 . 礼拝共同体の目標： 「聖なる都」エルサレム

礼拝を中心としながら、
政治・経済の中心地として
エルサレムを整備する

5 . 教会という礼拝共同体

礼拝を意義深くささげる

共同体での異なる役割を

確認する

役割を進んで担う